

群馬県支部

農業・観光等の地域資源を活用した中山間地の活性化の可能性

～尾瀬・片品の四季の風を全国へ配信～

1. 片品村農林業の現状と課題

(1) 片品村農業の実態

- ・総農家数 477 戸、自給的農家 5 割、専業農家と第 1 種兼業農家計約 100 戸、農業所得が少ない農家ほど農業をやめる傾向
- ・大半は畑作、野菜が全体の約 6 割、野菜の農業産出額は農業産出額の 8 割
- ・出荷量上位は、大根（県内 1 位）、トマト（同 10 位）、レタス（同 4 位）、トウモロコシ（同 6 位）
- ・耕作放棄地率は 40.4% で、県全体の 20.9% を大幅に上回る など

(2) 農林業アンケート結果

- ・経営課題は、価格低迷、資材高騰、高齢化、後継者難、害獣被害等
- ・経営改善の方向は、生産技術向上、新商品・高付加価値化への取り組み、共同直売所（直売所の集約）の設置、加工・販売等の多角化、共同化・集落営農 など。

2. 片品村観光業の現状と課題

(1) 片品村観光業の実態

- ・観光資源は、尾瀬国立公園・丸沼高原リゾート・武尊山周辺の 3 大自然エリア、7 つのスキー場と 9 つの温泉、近年の人気スポットは尾瀬岩鞍ゆり園、花咲の湯、天空の足湯など
- ・旅館、民宿、ホテル、ペンション・ロッジ、山小屋、合計 267 件の宿泊施設
- ・片品村スキー場入込客数は、80 年代のスキーブーム、90 年代のスノーボードブームが去り、また地球温暖化による雪不足などが影響し、スキー客は減少の一途を辿っている。など

(2) 民宿・旅館アンケート結果

- ・主な経営課題は、冬場の客数減、通年での集客、高齢化、料金低迷、資材高騰、適正利益確保
- ・経営改善の方向は、新サービス・高付加価値化の取り組み、地産地消、共同利用、接客技術向上、IT の活用、営業力強化、マーケティングや経営管理の強化 など。

3. 片品村の資源及び活性化の方向性

(1) 片品村農業の方向

- ・新商品・高付加価値化への取り組み、有機肥料投入、減農薬・無農薬栽培、輪作によ

る土壌改良、生産技術向上、共同直売所設置、加工・販売等の多角化、共同化・集落営農、IT活用直販等

- ・農商工連携による地域資源の全利用、尾瀬ブランドの認定取得 など。

(2) 片品村観光業の方向

- ・冬季スキー客依存から脱却し通年での集客
- ・グリーンツーリズムを中心とした新サービス・高付加価値化の取り組み、地産地消、共同利用、接客技術向上など。

4. 片品村の地域資源を活かした農商工連携、地域活性化の提言

(1) 地区内・地区間・異業種・官民・地区外等の人々の連携強化

(2) 農商工連携・地域資源活用プログラム等の施策活用

(3) 地域資源を活用したプロジェクトの提案

- ・メタボリックシンドロームさらならツアー
- ・森林体験ツアー
- ・片品歴史ツアー
- ・食品リサイクル&有機農業導入によるエコ郷づくり
- ・ジビエ料理提供による新名物づくり など

(4) 片品村活性化の運営主体 (VMO)

(5) アンテナショップで尾瀬・片品の風を首都圏に発信